


活動名	徳地の森環境学習プログラム			
概要	徳地の森を活用した環境学習プログラムで、自然に親しむことや自然の生態系について学ぶことなどをねらいに、13種類の活動から選び実施することができます。指導は引率者が原則ですが、外部指導員に依頼することも可能（別途、謝金必要）です。			
時期	通年	所要時間	45分～3時間	人数 1班40人以下
活動の持つ効果(特質)	①自然に親しむ。 ②自然についての知識・理解を高める。 ③自然の生態系について学ぶ。			
準備物	青少年自然の家で貸し出すもの		団体・個人で準備するもの	
	<input type="checkbox"/> 活動方法・内容の欄を参照 ※活動によって異なるため		<input type="checkbox"/> 活動方法・内容の欄を参照 ※活動によって異なるため	
手順	①実施する活動をあらかじめ考えておきます。 ②自然の家の職員と打合せをします。 外部指導員を依頼した場合は、外部指導員との打合せをします。 打ち合わせ内容 (ア) どの活動を実施するかを決定する (イ) 活動に関する説明をする(職員) (ウ) 準備物の確認をする。(自然の家で貸し出すものをお渡します) ③プログラムの実施 ④道具の返却(道具がそろっているかの確認をします)			
留意点	①指導は各団体の引率者で行います。ご希望により、外部指導員を依頼することができます。 ②外部指導員には謝金が必要です。詳しくはお問い合わせください。 ③ハゼノキやウルシなどかぶれる恐れのある植物には十分注意しましょう。春～秋にかけては、蚊、ブユ、蜂、アブなどへ虫よけ対策(服装等)、ヘビなどへの対応(むやみに草むらへ入らない)に配慮することが必要です。 ④活動内容について詳しくは、「徳地の森 環境学習プログラム集」をご参照ください。			

○活動内容(種類)の概要

No.1【自然の中での色さがしⅠ】

(低学年) 所要時間目安60分



(目 安) 自然の色に親しむ。

(内 容) 葉や花を採集し、紙で包んで色出しを行う。  
紙に出した色に名前を付ける。

(準備物)

所 バレン ホワイトボード ボードマーカー 水性マジックなど  
 団体 用紙(A6程度)人数×3 筆記用具 など

**No.2 【自然の中での色さがしⅡ】**

(高学年) 所要時間目安60分



- (目的) 体験をとおして自然の色に親しみ、その色に気づく。  
 (内容) 出したい色の葉や実、花を採集する。  
 シートに色出しを行う。  
 色出したシートと色見本を見比べながら日本古来の色について振り返る。

(準備物)

- 所 バレン ホワイトボード ボードマーカー 水性マジック  
 色見本 まとめシート はさみ など  
 団体 用紙 (A6程度) 人数×3 筆記用具 のり 両面テープ  
 植物図鑑 (あれば各班1冊)

**No.3 【落ち葉の下の世界】**

所要時間目安60分



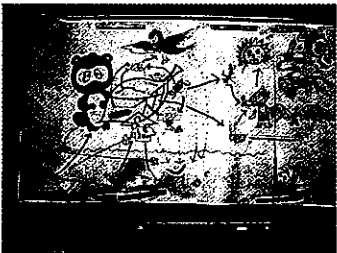
- (目的) 土壌の生き物を観察することで、生態系について理解する。  
 (内容) 落ち葉の下の土壌をスコップですくい、トレーに入れる。  
 土壌に棲む生き物を探し出す。  
 ルーペを使って観察する。

(準備物)

- 所 トレー 移植ごて ピンセット ルーペ シャーレ  
 クリップボード 観察シートⅠ、Ⅱなど  
 団体 新聞紙 軍手 筆記用具 など

**No.4 【森の生態系】**

所要時間目安80分



- (目的) 木(葉)を中心とする食物連鎖の関連図を描き、森の生態系について知る。  
 (内容) 木(葉)を始めとして、食物連鎖の関連図を大版用紙に描く。  
 描いた関連図について、班ごとに発表する。

(準備物)

- 所 水性マジック 色鉛筆 ホワイトボード  
 ボードマーカー モグラのフリップ  
 食物連鎖のフリップ 森の生態系のフリップ など  
 団体 大版用紙(模造紙)×班数 筆記用具 など

※応用例 外での食物連鎖について観察した後、実施する。

**No.5 【ろ過装置】**

所要時間目安60分



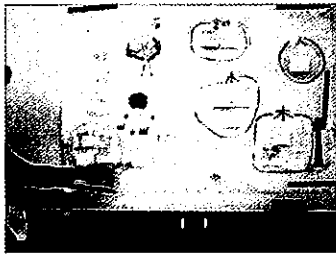
- (目的) 簡単なるろ過装置を作ることとおして、浄化作用やろ過作用に気づく。  
 (内容) 自然物を使って水を浄化する仕組みを考える。  
 ペットボトルに自然物を実際に入れ、ろ過装置を作る。  
 泥水をペットボトルに流し込み、浄化の様子を観察し、振り返りを行う。

(準備物)

- 所 ペットボトル バケツ 色鉛筆 水性マジック  
 団体 用紙 (A4程度)×班数 筆記用具

### No.6 【森のはたらき】

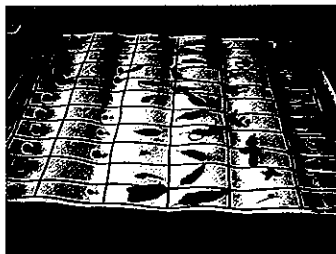
所要時間目安80分



- (目的) 自然散策をとおして、森の働きについて考える。  
 (内容) 自然散策をする。  
 森の働きについて、気づいたことを付箋に書き出す。  
 KJ法を利用して、森の働きについて参加者の考えをまとめる。  
 (準備物)  
 所 資料「森の働き」 水性マジック  
 団体 大版用紙(模造紙) 班数 付箋紙×人数分 筆記用具

### No.7 【徳地の森の探検隊】

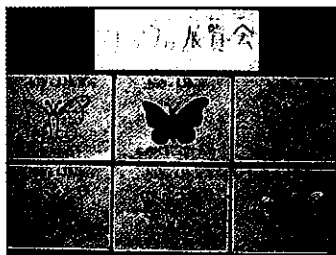
所要時間目安60分



- (目的) 一度見た自然物と同じ自然物を探し出す活動をとおして、意識して自然を見たり感じたりできる。  
 (内容) 指導者側から4~5種類の自然物を提示する。5秒~10秒程度。フィールドに出て、提示された物と似ているものを探し、拾ってくる。探し集めてきたものを並べ、始めに提示された自然物と比較する。  
 (準備物)  
 所 水性マジック 色鉛筆 フリップ ホワイトボード  
 ボードマーカー 地図 クリップボード  
 紙(ビニル) 袋 など  
 団体 筆記用具 大版用紙(模造紙)×班数 など

### No.8 【チョウの展覧会】

所要時間目安60分



- (目的) チョウの模様をデザインすることで、生き物たちの自然を生き抜く不思議な力や自然に対する興味関心を高める。  
 (内容) チョウの姿(羽)に模様を考えて色を付ける。  
 模様について各自の思いを伝え合う。  
 チョウの写真(フリップ)を改めて見て感想を述べ合う。  
 (準備物)  
 所 水性マジック 色鉛筆 チョウの写真(フリップ)  
 セロテープ チョウの模様のデザイン用紙 押しピン  
 団体 用紙(A4程度)×班数 など

※応用例 実際に外で蝶の観察後、このプログラムを実施するとよい。

### No.9 【ぼんぼこ森の宝物 I ~ネイチャーオリエンテーリング~】

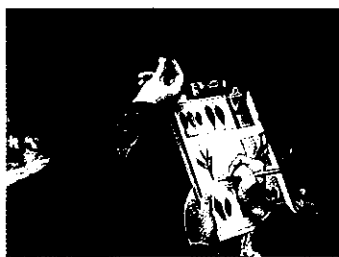
所要時間目安60分~3時間



- (目的) ネイチャーオリエンテーリングをとおして、木に関することについて学ぶ。  
 (内容) 活動の必要物品を確認する。  
 順路(2コース)に沿って、ポイントを回る。  
 各ポイントで、その木に関する説明を読んだりクイズを解説書を参考に学びを深める。  
 (準備物)  
 所 鈴 地図 解答用紙 解説書(必要があれば)  
 ストップウォッチ クリップボード 巻物 など  
 団体 筆記用具 など

**No.10 【徳地の森の宝物Ⅱ～ネイチャービンゴ～】**

所要時間目安60分～3時間



- (目的) ネイチャービンゴをとおして、自然と楽しく触れ合いながら木についての興味関心を高める。
- (内容) 活動の必要物品を確認する。
- (準備物)
- 所 鈴 ビンゴ用紙 解答用紙 解答 ストップウォッチ  
クリップボード など
- 団体 筆記用具 など

**No.11 【徳地の森の声が聞こえる】**

所要時間目安60分



- (目的) 徳地の森の声を聞きながら豊かな自然に触れることで、心地よさを感じ、自然への親しみや森の働きについて考えることができる。
- (内容) 徳地の森をまわりながら、様々な自然の音を聴き、どんな音があったか、音を絵で表現し描いたものについて、振り返る。
- (準備物)
- 所 色鉛筆 フリップ ホワイトボード ボードマーカー 地図  
など
- 団体 筆記用具 大版用紙(模造紙)×班数 など

**No.12 【里山のかおり】**

所要時間目安120分



- (目的) 炭づくりを通して、自然との共生(里山のある暮らし)について理解したり、エネルギーを生産する場としての森の役割に気づいたりする。
- (内容) 飾り炭を作り、その間に、里山についての話を行う。
- (準備物)
- 所 かなづち くぎ 火ばさみ まき 半切りドラム缶
- 団体 軍手 バケツ お菓子の缶(班で1～2個)  
針金(缶の数×2) アルミホイル など

**No.13 【お魚クイズ】**

所要時間目安45分



- (目的) 佐波川に棲む魚を知ることで、身近な川の性質や環境について考える。
- (内容) 佐波川に棲む魚のクイズを実施する。
- (準備物)
- 所 魚の写真 ホワイトボード マーカー クイズ用問題  
魚マグネット
- 団体 大版用紙(模造紙)×半数 用紙(A4程度)×参加者  
筆記用具

※応用例 川で活動(川遊びなど)した後、実施することもできる。

○発展的な取り扱い(プログラムとしての扱い方)

- ①活動をいくつか組み合わせる(流れを考える)
  - ②野外炊飯(環境学習を視点にいたしたもの)+環境学習プログラム
  - ③自然観察(外部指導員)+環境学習プログラム
  - ④ネイチャーゲーム(外部指導員)+環境学習プログラム
  - ⑤TAP(職員・外部指導員)+環境学習プログラム
- などとあわせて実施すると効果的です。